



閑馬小だより



発行 閑馬小学校
責任者 亀田 哲夫

けっしつ 結実の時 (閑馬小だより最終号に寄せて)

校長 亀田 哲夫

昇降口に掲示された閉校までのカウントダウンボードの日数が、三十日を切りました。これまでを振り返ってみると「閑馬小最後の：」という冠が付いた様々な教育活動は、大きな成果をあげて無事に終了し、残す行事もわずかとなりました。

また、田沼西地区小学校との交流やあそ野学園義務教育学校開校に向けての準備も進んでおり、子どもたちの期待感もだんだんと膨らんできているようです。

さて、表題の結実とは、読んで字のごとく植物が実を結ぶことです。転じて、努力したことが良い結果につながることを意味します。

校内に響く元気の良いあいさつ、感謝を表すありがとうの言葉、何事にも全力を尽くす姿勢、思いやりのある言動など、全校児童は閑馬小学校で結実の時を迎えようとしています。

子どもたちが結んだ実は、あそ野学園義務教育学校に進んでも新たな芽を出し、花を咲かせ、また実を結ぶことでしょう。閑馬小学校は百四十七年の歴史に幕を引きますが、子どもたちの成長のサイクルは、今後も連続と続いていくと確信しています。

今日に至るまで、永きにわたってご支援をくださりました保護者・地域の皆様、学校支援ボランティアの皆様、旧職員の皆様、市教育委員会をはじめとする関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。